

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.64 2026年1月15日発行

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2

Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891

URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>

発行責任者 石本伸二

2026年 新潟県労福協 新春の集い

2026年1月6日（火）ANAクラウンプラザホテル新潟において、新潟県労福協主催の「2026年新潟県労福協新春の集い」が各界から211名の参加者のもと、盛大に開催されました。

冒頭、牧野理事長の主催者あいさつの後、花角県知事と中原新潟市長から来賓のご挨拶をいただきました。

その後、鏡開きを行い、山崎副理事長(新潟県労働金庫理事長)の乾杯で祝宴がスタートしました。

アトラクションとして「永島流新潟樽砵と下駄総踊り」をにぎやかに披露していただきました。

最後は小野塚副理事長(こくみん共済coop新潟推進本部長)から締めあいさつがあり、盛会のうちに終了しました。

新潟県労福協 新春



山崎副理事長による乾杯

午
2026

2026年、今年も
よろしくお願いします

理事長 牧野 茂夫 労福協

副理事長 小林 俊夫 連合新潟

副理事長
山崎 雅彦
労働金庫

副理事長 小野塚 豊
こくみん共済

専務理事 石本 伸二 労福協

理事 登坂 崇規 自治 労

理事 飛田 博之
U Aゼンセン

理事 渡邊 洋平 交通労連

理事 桑原 典子 連合新潟

理事 鶴巻 洋介 労働金庫

理事 古市 健生
こくみん

理事 眞田 守 退職者連

理事 中川 亨 ろうきん

理事 馬場真由美 コープデ

理事 川原 隆哲
ワーカーズ

理事 那須野智広 全港灣

理事 小室千代子 下越地区

理事 山田 浩之 県央地区

理事 笹井 智規 柏崎地区

監事 遠藤 大介 連合新潟

監事 長谷川建雄 労働金庫

監事 森山 真吾
こくみん

事務局長 江口 勉 労働金庫

事務局長 田中 和恵
こくみん

職 員 渡 辺 薫 芳 福 協

「福祉はひとつ」をもとに、 連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会をつくります！



新潟県労福協
理事長 牧野 茂夫

あけましておめでとうございます。
新潟県労福協は、事業団体である連合新潟・新潟県労働金庫・こくみん共済coop新潟推進本部（当時は総合生協）、そして「県内で働く人、暮らす人すべての福祉（しあわせ）向上」を目指して1988年6月に立ち上げた組織です。現在、県内10カ所の地区労福協、会員団体とともに、「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会」をめざしており、主要であるライフサポートセンター事業を柱に、行政をはじめ、NPO・市民活動団体等さまざまな団体とのネットワークを強化しつつ、生活上の悩みや課題を抱えた人々に対する支援事業を一体となって進めています。
昨年来、私たちを取り巻く情勢は、円安や異常気象な

どを原因として、あらゆる物価が急激に上昇し、暮らしに大きな影響が出ています。各企業での賃上げ、地域別最低賃金の引き上げや年金額の改定が行われましたが、生活の改善には至っていません。国政においては、石破総理の突然の辞任により政治の空白が生じ、対応策にスピード感がなく、国民生活は厳しい状況です。また、近年、猛暑日の記録更新や地震、風水害などの自然災害も多く発生しており、その対策や対応も急務となっています。

新潟県労福協は、引き続き自治体への政策・制度の要請や奨学金問題、子どもの教育格差や貧困の連鎖などの問題に対しても、教育費負担の軽減や奨学金制度の改善に向けたアピール活動やセーフティネット作り、日本難病・疾病団体協議会の請願署名活動にも取り組みます。

労福協運動は、政策や制度の改善を求める社会運動と、労働者自主福祉運動を車の両輪として、「福祉はひとつ」の理念のもと、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現を図ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2026年 年頭挨拶



労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は政治情勢が大きく変化しましたが、ここ数年続いている物価上昇により、国民生活の厳しい状況は改善されていません。

加えて、労福協が進める「高等教育費負担軽減」の取り組みについては、昨年3月に大学等修学支援法の一部が改正されましたが、支援対象は一部の拡充に留まっています。私たちには引き続き、教育

の機会均等や奨学金制度の改善を通じて、誰もが安心して学ぶことのできる社会の実現に向けた取り組みが求められています。

また、2025国際協同組合年を契機に展開しました取り組みは、協同組合運動の振興と労働者福祉運動の発展に向けて、加盟団体との連携に加え、地域の様々なネットワークとも連携し、具体的な対応を進めていきます。

社会は大きく変化していますが、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」労福協の理念に基づき、本年も力強く取り組みを展開していくことをお誓い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

お金・くらしのこと、家族のこと、
職場・仕事のこと・・・など



相談は
原則無料

秘密
厳守

ひとりで悩まないで！お気軽にご相談を！

新潟県ライフサポートセンター

新潟県LSC

検索



☎ 0258-86-8898 【受付】平日（祝日除く）10:00～16:00

第35回勤労者駅伝大会

みんなの思いをタスキに込めて

11月3日(月・祝)、雨が心配される中で連合新潟・労福協主催の第35回新潟県勤労者駅伝大会が、新潟市デンカビッグスワンスタジアムをスタート・フィニッシュとし新潟県スポーツ公園内コース(6区間 18.4 km)で開催されました。

参加チームは64チームで、前年より4チーム増えてにぎやかに開催され、県下各地から日頃、鍛えた健脚を競う熱いレースが繰り広げられました。

今大会も前回に続き、全国実業団対抗駅伝大会の出場経験もある“走る大工集団”重川材木店陸上部がゲスト参戦していただき、その実力を目の当たりにしました。

開会式からスタートまでは、何とか天気は持ちこたえたのですが、途中から少し雨模様となりました。それでも

各選手は元気に最後まで走りぬきました。最終ランナーがゴールと同時に雷が鳴り、豪雨となり、奇跡的なタイミングに驚くとともに無事の終了を喜び合いました。

一本の「タスキ」をつなぐ駅伝、タスキには目に見えない「絆」や「支え合い」が込められ、まさに働く者の団結と連帯を確認できるものとなりました。

これからもアスリートから初心者まで、誰もが自由に気軽に参加しやすい大会をめざし「タスキ」をつないでいきます。来年も多くの方の参加をお願いします。

競技結果は以下のとおりです。

<総合順位>

- 1位 新光電気スーパーレーサー 1:05:09
- 2位 J P 労組REBORN 1:05:47
- 3位 T F D 駅伝クラブ 1:08:36
- 4位 津南町役場 1:08:45
- 5位 ヤマト運輸駅伝部Aチーム 1:13:55
- 6位 原信ナルスRCプレミア 1:14:19

<男女混合順位> (女性2名以上が実走したチーム)

- 1位 原信ナルスRCプレミア 1:14:19
- 2位 チーム丸運B 1:16:21
- 3位 松本JAPAN 1:21:42



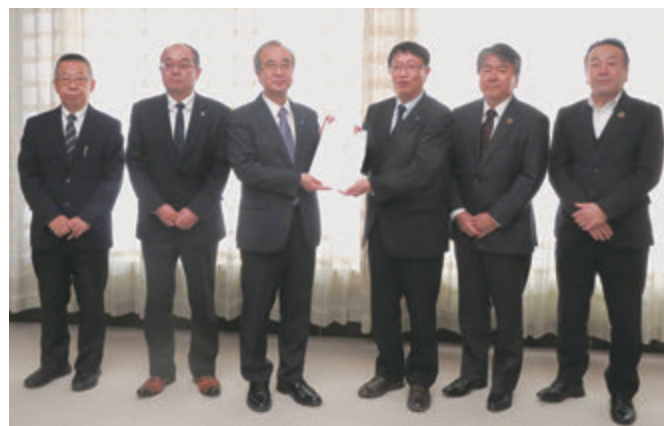
花角県知事要請行動

「2026年度(令和8年度)労働者福祉に関する要請書」に基づく申し入れ

11月12日(水)県労福協は、花角知事を訪問し労働者福祉に関する要請書を提出しました。

要請内容は、①東日本大震災・能登半島地震の被災者・避難者支援および防災・減災対策の強化について、②格差・貧困社会の是正、セーフティーネットの強化について、③奨学金制度の拡充・改善と教育費の負担軽減について、④フードバンク活動の促進について、⑤労働者協同組合法の施行の運用について、⑥「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に伴う対応について、⑦介護福祉政策についての7項目でした。

花角知事からは、「労福協の県民の生活や福祉の向上をめざした活動に感謝申し上げる。物価の高騰で厳しい状況は広がっている。ご要望の内容を受け止めて、予算編成に反映できるよう知恵を絞って参りたい。」との回答がありました。



—出席者—

(新潟県) 知事・産業労働部長・しごと定住促進課長・福祉保健総務課長・こども家庭課長
(労福協) 牧野理事長・小林副理事長・山崎副理事長・小野塚副理事長・石本専務理事

第12期にいがた福祉リーダー塾（後期）

10月8日（水）新たな時代に対応する人材育成をめざした第12期にいがた福祉リーダー塾（後期）を開催しました。後期は14名の塾生が参加して、すべての課程を修了しました。

後期は、労働者協同組合を地域で実践されている2つの事業所①「ささえあいコミュニティ生協新潟(天寿園カフェ)」、②「労働者協同組合ごまのたね」を訪問し、実際の現場の話を聞き、意見交換をしました。

塾生からは「ともに働き、ともに支え合うという協同の理念を実際の現場を見て生の声を聞けて、より深く学ぶことができた。」「この経験を活かすとともに、まわりに広げたい。」などの感想が寄せられ、貴重な体験となりました。



第9回地区労福協事務局長会議



10月9日（木）第9回地区労福協事務局長会議を勤労福祉会館で開催しました。

会議では、①新潟県ライフサポートセンター事業の取り組み状況の報告、②各地区の上半期の活動計画に対する進捗状況について、③下半期の活動予定についての意見交換を行いました。

各地区とも参加者や地域のためになる内容をめざして、創意工夫を凝らしたライフ＆ワークセミナーを予定しており、地域のNPOや市民団体との連携も意識しての取り組みが報告され、地区労福協による地域に根差した活動を今後も強化していくことを参加者全員で確認しました。

**ご家族やお知り合いに
就職内定者がいる方必見!**

就職内定者
向けローン

Uターン
就職者の
利用もOK!

**資格に旅行…残りの学生生活を有意義に！
新社会人になるための準備も万全に！**

車購入

免許取得

引っ越し

新生活準備

短期留学

資格取得

卒業旅行
etc.

**100万円まで保証人は
原則として必要ありません**

本格的な返済は社会人になってから!
初任給を受け取るまでは元金据置OK(最大7ヶ月)

●ご利用いただける方／新潟県内に居住し、企業から就職内定を受けた新卒予定者で新潟県内に勤務する見込みの18歳以上30歳未満の方 ●融資限度額／ご利用の融資商品で定める融資金額 ●ご返済期間／ご利用の融資商品で定める融資期間 ●担保／不要 ●保証／保証機関の保証(保証料はろうきん負担)

※内定が証明できる書類(内定通知書等)および初任給等の見込収入が確認できる書類をご提出いただきます。
※新潟県内に居住していても、Uターン就職者の方については対象となります。※内々定者は対象外となります。
※店頭またはホームページで返済額の試算をいたします。※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合があります。※詳しくは店頭に説明書をご用意しております。

新潟ろうきん

新潟ろうきん 検索

お近くの店舗はこちらから
店舗一覧

お使いみちにに応じてご利用いただく融資商品が異なります。
詳しくはこちらをチェック!

国際交流

韓国労働組合総連盟ソウル特別市地域本部の代表団が来県

日韓交流協定に基づく定期交流が10月23日(木)～27日(月)に実施されました。

韓国労組の代表団5名が来県し、両国の労働組合を取り巻く社会・経済情勢等の有意義な意見交換が行われました。

今後もこれまで培ってきた交流の歴史や友情はお互いに大切に、改善が進みつつある両国の関係を草の根から支えていくことを確認しあいました。

今回の代表団の受け入れを最後に韓国・中国・ロシアとの国際交流はすべて終了することとなりました。



連合新潟第35回定期大会

社会と未来を変えていく
～仲間の輪を広げ、ともに進もう！～

10月30日(木)連合新潟は第35回定期大会を新潟東映ホテルにおいて開催し、代議員、特別代議員など総勢172名が出席しました。

冒頭、小林会長からは、「組織拡大」「実質賃金のプラスへの転換」が最重要課題であり、総力を挙げて取り組む決意が述べられました。

大会では、組織の拡大や賃上げを柱とした運動方針、財政、役員を選出などの議案がすべて承認されました。



地域活動交流集会

11月5日(水)、新潟東映ホテルにおいて「地域活動交流集会」を開催しました。地区労福協役員を中心に連合・ろうきん・こくみん共済coopからの参加者を含め52名が参加しました。

第1部では中央労福協講師団の山本幸司氏から「混迷する現代、労福協の果たす役割」と題しての基調講演を受けました。



第2部では、佐渡地区労福協の近藤事務局長から活動報告を受けた後、今後の地区労福協の活動についてのグループ討議を行い、経験交流を深めました。

中央労福協第67回定期総会



中央労福協は11月21日(金)、第67回定期総会を開催し、全国から207名の代議員(会場出席129名、委任78名)が出席しました。

活動報告、会計報告、活動方針(案)、役員改

選等が提案され、全議案が承認されました。

役員改選では、南部事務局長を含め3名の役員が退任され、芳野会長をはじめ10名の役員が再任されました。また、佐保事務局長をはじめ4名の役員が新役員として就任しました。

東部ブロック第60回定期総会

12月3日(水)群馬県高崎市「ホテルメトロポリタン高崎」において47名が参加して東部ブロック第60回定期総会が開催され、2025年度の活動報告並びに会計報告・会計監査報告、2026年度の活動方針・予算案が提案・承認されました。



なお、総会終了後に「労福協会員との協働に期待すること」と題して群馬県社会福祉協議会顧問の川原 武男氏から講演をいただき、社会福祉協議会の活動や地域における役割を再認識することができました。

地区労福協からのたより



小千谷地区

10月18日(土)、労福協／連合新潟共催のライフプランセミナーを開催しました。今回は小千谷市の出前講座を活用して、「ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。について」と題し、小千谷市職員にご講演をいただきました。「ホントカ。」とは市民との長年の対話の末、2024年9月に新設された図書館です。同時に市民のチャレンジを支え、人々のつながりを生む拠点でもあります。過ごし方は自由であり、図書館なのにうるさい、子供が騒いでいる、学習スペースでゲームしている、など固定概念にとらわれず、更に進化する可能性を秘めており、毎日多くの市民が訪れています。その外観、提案性、可能性が評価

されグッドデザインベスト100にも選ばれました。地元注目すべき施設が増えてきた事を再認識できる良い機会となりました。



上越地区



10月28日(火)に上越地区労福協主催による「ワーク&ライフセミナー」を上越市市民プラザで開催し

ました。

今回は「防災・減災セミナー」とし、第1部では、「もしもに備えて未来を変えよう」と題し、こくみん共済coop山田上越支所長からの講演の後、第2部として「NPO法人新潟県災害救援機構代表 梅澤圓了様」をお招きし、「防災への備え」と題し、ご講演いただきました。【阪神淡路大震災】【7・11新潟福島水害】【ナホトカ号重油流失事故】【中越地震・中越沖地震】【東日本大震災】【能登半島地震】等々の各地の災害現場に初期出動し、災害者と現地本部・医療などの橋渡しを担ってきた経験からの貴重なお話を伺う事が出来ました。

いつ起きるか解らない自然災害に対し、地域が抱える課題や防災・減災について改めて一緒に考える機会となる有意義なセミナーとなりました。

下越地区

11月15日(土)、新発田市生涯学習センター講堂にて、下越地区労福協主催「ワーク&ライフセミナー」が開催されました。市民や労福協関係団体の方々など約200名の参加となり、第1部の映画上映「35年目のラブレター」では、定年退職を機に夜間中学へ通い始めた主人公が、妻への感謝の手紙を書くために奮闘する姿が描かれ、実話をもとにした心温まるストーリーで、多くの方が深い感動を覚えていました。第2部のアフタートーク「新潟県新発田市に夜間中学校をつくる会の状況」では、講師の松本英也氏(新発田市自主夜間中学校代表)が登壇されました。自

主夜間中学校が開校するまでの経過や、今年4月の開校後に生徒の皆さんから感じたこと、気づかされたことなどの紹介があり「誰でも、いつでも、どこからでも、何度でも学ぶ機会を保障してほしい」「学



ぶことは生きること。その思いに気づかせてもらった」「今後も学ぶ人に寄り添っていきたい」と語られました。

佐渡地区

佐渡地区労福協 「ワーク&ライフセミナー」開催

8月30日(土) 佐渡地区ワーク&ライフセミナー「古市佳央セルフストーリーオペラ」を島で一番大きなホールのアミューズメント佐渡を会場に開催しました。



予想を上回る100人の来場があり、中には東京の友人が「いい話だから是非聞いて。」と言われたので来たと話す人もいました。

昨年に続いて古市さんの講演でしたが、今回は2人の仲間の歌とピアノ演奏が加わり、より臨場感のある「命の大切さ」「生き抜く喜び」を伝えるステージとなりました。講演中の歌に「心ない一言で、全てをあきらめた。言葉の重みを知ったから、言葉の薄っぺらさ知れたんだ。言葉に心、殺されたから、言葉で心救いたい。」何気なく発する言葉や行動が相手を傷つけたり、悲しませたりしている。また、

時には優しく、心暖めてくれる。日頃私たちの発する言葉や行動が相手にどう伝わっているのか、どんな気持ちにさせていたのかを考えさせられた歌やお話しでした。

2025団結キンボール大会

10月28日(火) 連合佐渡地協青年女性部と共催でのレクレーション「キンボール」を行いました。直径1.2mの巨大で軽いアドバルーンのボールを4人1組の3チームが同時にコートに立ちボールを床に落とさないよう、互いに助け合い、協力する近代スポーツです。参加状況から男性だけのチームと女性混合チームの2リーグに分かれての試合。今日初めて会った人とチームを組むので互いの性格や力量が分からず、遠慮もあってか第1試合では度々ボールが床に落ちていました。しかし2試合目、3試合目と進むにつれゲームのコツが掴めたか、声かけあって協力し始めたからかボールはしだいに床に落ちず白熱した展開となりました。おのずと5分間足を止めることなくコートを走り回るので、終了間際には息上がる人も続出。全ての試合が終わるころには、どのチームも互いの健闘を称え合い、和む姿に組織は違えどあらたなつながりや仲間ができた瞬間でした。みなさんも「キンボール」やってみませんか！



十日町地区

地域NPO法人・新潟県労働金庫 との連携活動

10月12日(日) 十日町市の「桂公園こどもランド」にて、ろうきん十日町支店開設60周年記念イベント「ろうきんわくわく感謝祭」が開催されました。

本イベントは、ろうきん十日町支店と地域の労働組合の皆様、そしてお子様たちの笑顔のために活動している「NPO法人桂公園こどもランド」との共催で実施され、当地区労福協も活動に参加しました。

地域の親子連れの方々をはじめ、市外の方など多くの方からご来場いただきました。

ご来場の皆様の、くじ引きやゴーカート、ダンスパフォーマンスなど、盛りだくさんのイベントを楽しんでいる様子や、たくさんのお子様達の笑顔を見ることができ、とても素敵な一日となりました。



2025年度総会の開催

12月10日(水) サンクロス十日町にて今年度の総会を開催しました。新型コロナウイルスの影響による中断期間を経て、昨年度から連合十日町支部と同日開催しています。

新たに十日町地域退職者連合様から加入いただくこととなり、更なる活動の活性化を目指して参ります。

謹賀新年

謹んで新春のお慶びを申し上げます
本年も変わらぬご愛顧を賜りますよう
お願い申し上げます

新潟推進本部
(新潟県総合生活協同組合)

公式キャラクター ピットくん・
ピットくんファミリー



こくみん共済 NEWS
coop

1525Z019

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

co-op
コープデリ

コープデリにいがた

ビジョン 2035

食べるしあわせ、自分らしい暮らし
「ともに」の力で、笑顔の明日を

私たちは、助け合いの心と協同の力が生みだす
「ともに」の力で未来をきりひらき、
誰ひとり取り残さない社会を創ります



コープデリにいがたの宅配事業

「つかうほど、じぶんらしく。」をブランドメッセージに、
コープデリ宅配は一人ひとりの毎日にたくさんのおいしさをお届けします。

くらしの助け合いの会

家事援助を中心として困ったと
きに、お互いのくらしを支え合
い、助け合う有償の組合員活動
です。※新潟市中心に活動しています。



ウイークリーコープ

週1回決まった曜日・時間帯にご自宅
の玄関先まで、6,000品目以上の取扱ア
イテムから、ご注文いただいた食品や日
用品をお届けする宅配サービスです。

夕食宅配

管理栄養士が監修した夕食用
のお弁当を月曜から金曜の週3日
から5日までお届けします。
※お届け地域限定サービスです。



お問い
合わせ

生活協同組合コープデリにいがた 総合企画室

〒950-1125 新潟市西区流通1丁目5番地3

TEL 025-260-3351 (月～金 9:00～17:30)

コープデリにいがた
ホームページ→

<https://niigata.coopdeli.coop/>



2026年
1月1日
施行!

中小受託取引 適正化法

取適法



お問い合わせはコチラ

下請かけこみ寺 (中小企業庁)

☎ **0120-418-618**



よろず支援拠点全国本部

☎ **03-5470-1581**





連合PR大使ユニオニオン

日々、Xの連合アカウントでユニオニオンがつぶやいているオニオン♪ ユニオニオンについて知りたい人はフォローしてね!






はたらくのそばで
ともに歩む

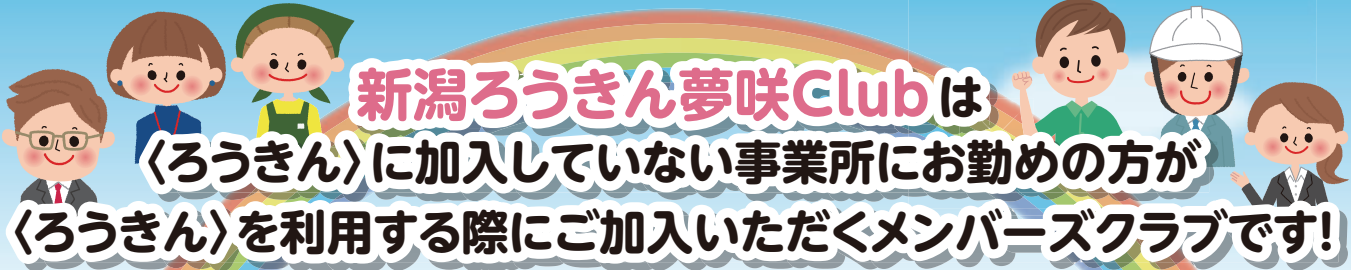
連合新潟

(日本労働組合総連合会新潟県連合会)

フリーダイヤル
いこうよ
れんごうに

なんでも労働相談ホットライン

 **0120-154-052**



新潟ろうきん夢咲Clubは

〈ろうきん〉に加入していない事業所にお勤めの方が
〈ろうきん〉を利用する際にご加入いただくメンバーズクラブです!

ご入会

新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。
加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備え付けてあります。※入会金や会費は必要ありません

**ご加入
いただける方**

新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- 1 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方など
- 2 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

**おもな活動と
会員サービス**

- 会報誌「夢咲Club通信」の発行
- 暮らしに役立つイベントなどの開催
- 安心の無料相談ネットワーク(弁護士無料法律相談、健康ダイヤルなど)

ご加入は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Clubまで。

新潟ろうきん夢咲Club

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫本店5階
TEL 025-201-8765 FAX 025-201-8755
<https://www.n-yume.jp> 新潟ろうきん夢咲Club 検索

今後の日程

1月	22日(木)	新潟市PS第10回支援調整会議(勤労福祉会館)
	23日(金)	柏崎地区新春賛詞交歓会(柏崎市産業文化会館)
	29日(木)	新潟地区労福協新春のつどい(新潟東映ホテル)
2月	5日(木)	長岡地区ワーク&ライフセミナー(アオーレ長岡 B・Cホール)
	7日(土)	長岡地区ワーク&ライフセミナー(長岡市立劇場 大会議室)
	12日(木)	第17回勤労福祉会館長期修繕計画策定・検証委員会(勤労福祉会館)
	15日(日)	長岡地区ワーク&ライフセミナー(アオーレ長岡 市民協働ルーム)
	18日(水)	第1回地方労福協会議(東京都千代田区)
	19日(木)	消費生活ネットワーク理事会(coop会館)
	26日(木)	ニピイ理事会(東中通ビル)
3月	26日(木)	新潟市PS第11回支援調整会議(勤労福祉会館)
	6日(金)	もう一つの奨学金説明会(Web)
	16日(月)	東部ブロック幹事会(栃木県宇都宮市)
	17日(火)	第155回理事会(勤労福祉会館)
	20日(金)	長岡地区ワーク&ライフセミナー(アトリウム長岡)
	25日(水)	地区労福協事務局長会議(勤労福祉会館)
	26日(木)	新潟市PS第12回支援調整会議(勤労福祉会館)

編集後記

先日、消費生活ネットワークが主催するセミナーで、「サステナブル・ラベルを活かす！伝える・選ぶヒント」という講演を聞いた。サステナブル(持続可能な)という言葉は、最近よく聞くようになり、SDGs(持続可能な開発目標)という言葉も広く認知された。「サステナブル・ラベル」を一言で言うと、「その商品が地球環境や働く人に配慮して作られたことを証明するマーク」のことだ。

買い物をする際、その商品が「森を壊して作られたのか」「幼い子供が無理やり働かされて作られたのか」「生産者に適切な賃金が支払われたのか」などをパッと見で見分けるのは難しい。そこで、第三者の専門機関が「この商品は、自然や人を大切に作るルールをちゃんと守っていますよ！」と国際認証としてお墨付きを与えたのが、このラベルだそう。

ラベルが付いた商品を買うことは、生物の多様性を守る、環境や労働条件に配慮する、SDGsに貢献するなどの志を持った企業を応援し、この惑星を守ることにつながる。買い物の際に意識をしてほしい。まずは、マークを探すことから始めたい。

今年こそ、争いごとがなくなり、笑顔があふれる一年になりますように。

(新光町の疾風怒涛)



公益財団法人
新潟ろうきん福祉財団

2/13 (金) 事務所移転のお知らせ

明けましておめでとうございます

本年も、よろしくお願い申し上げます。

このたび、当財団は、2026年2月13日、下記の通り事務所を移転することになりましたので、ご案内申し上げます。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【移転先情報】

新 住 所：〒951-8113

新潟市中央区寄居町 332-38 新潟県労働金庫 本店 5 階

電 話 番 号：025-288-5273 (変更ありません)

FAX 番 号：025-288-5274 (変更ありません)